

9/11
19
26 昭和中学校、村内各保育園で規模縮小し運動会
距離を保って心ひとつに運動会



フェイスシールド着用で綱引き(昭和中、11日)



かけっこ(第二保育園、19日)



アンダー・ザ・シー(子育て保育園、26日)



ダイナミック琉球(第一保育園、19日)

昭和中学校と村内各保育園で運動会が開かれました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の観覧を制限するなど規模を縮小し、子どもたちの距離を保つために競技内容を工夫して行われました。

昭和中学校では、生徒会長の阿部岳琉君が「開催できることに感謝しています。新型コロナウイルスによって、自粛生活をしたり部活動の大会中止などで流した涙を晴らし、運動会を盛り上げよう」とあいさつ。生徒が一丸となって各競技に取り組んでいました。

9/18 敬老祝金配布
いつまでも長生きしてください

村は、村内の80歳以上のお年寄り756人の長寿を祝い、地域の民生委員を通じて敬老祝金を贈りました。

また、9月18日には、堤村長らがそれぞれ自宅などを訪問。95歳以上の方61人に、直接、敬老祝金を手渡しました。

今年で96歳を迎えられた金井さだ江さん(椋久保南部)にも、堤村長から「これからもお元気でください」と敬老祝金が渡されました。金井さんは「ありがとうございます」とお元気に応えていました。



96歳を迎えられた金井さだ江さん

9/16 防災用KAMIKABE組み立て訓練
消防団が避難所を想定し訓練

村消防団(金井真一団長)による、避難所用の段ボール製間仕切り「KAMIKABE」組立訓練が多目的屋内運動場で行われました。これは、台風や豪雨により避難所を開設する際に、感染症に対して3密(密閉・密集・密接)にならないよう導入したもの。

訓練には、消防団の各分団幹部が参加しました。第8分団の河野太一機長は「避難所の感染症対策やプライバシー保護に有効だと思います。いざというときに、消防団としてお役に立てれば」と話していました。



KAMIKABEを組み立てる消防団員

8/30 群馬県高校体育大会・女子ソフトボール
兵藤月花さんが活躍、健大高崎が県制覇

群馬県高校体育大会の女子ソフトボール決勝が坂東橋緑地公園(渋川市)で行われ、2年生の兵藤月花さん(伏田)が捕手として先発出場した健大高崎が高崎商に6対2で勝利し優勝しました。

兵藤さんは「インターハイが中止になり悔しい思いをしましたが、お世話になった先輩方と県大会で優勝でき大変嬉しく思います。少年野球を始めてから、今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちと向上心を持ち、今後も頑張りたいです」と喜びを語りました。



見事優勝を果たした健大高崎ナイン(中央が兵藤さん)



唯一の2年生として先発入り



好走塁で生還



守備の要、正捕手として大活躍

9/4 商工会創業塾出身者が創業
山口直巳さんがおやつ工房出店

山口直巳さん(永井)が「福・田舎のおやつ工房」を創業しました。山口さんは、昭和村商工会創業塾出身。

お店では、あんこのほか、ごぼうや小松菜など季節のお総菜がふんだんに入った「おまんじゅう」を予約注文や旬菜館で販売しています。

山口さんは「地元で頑張る農家さんに注文いただいています。手軽なおやつとして、おまんじゅうを食べいただければ。少しずつ、笑顔で一所懸命やっていきたいです」と話していました。



創業した山口直巳さん

8/23 赤城の森トレイルラン
感染症対策講じ林道を快走

赤城林間学園を発着点として、第5回SUBARU赤城の森トレイルランが開催されました。

感染症対策のため参加者数を大幅に削減した今大会は、パフとよばれるマスクを参加者に配布、任意スタートのタイムトライアル方式で15Kmの部と30Kmの2種目が行われました。15Kmの部に参加した吉留隆行さん(東京都)は「新型コロナウイルスの影響でマラソン大会が軒並み中止となる中、対策を講じた上で無理なく参加できてありがたいです」と話していました。



フェイスマスクをしてスタートする参加者

9/2 第二保育園の園児が収穫体験 じゃがいもたくさんとれました

第二保育園の園児たちが、たま農園の根岸まさみさん(中野)方の畑でじゃがいもの収穫体験を行いました。

園児たちは真剣にじゃがいもを掘り取り「大きい、たくさんとれた」と喜んでいました。



じゃがいもたくさん収穫できました

9/17 優良道路愛護表彰 入沢道路愛護会に表彰状

入沢道路愛護会(入沢区、諸田郁夫区長)に、群馬県から優良道路愛護団体表彰が贈られました。

同会の長年にわたる道路愛護活動が、環境美化への意義ある取り組みとして評価されました。



表彰状を手にする諸田入沢区長

9/25 大河原小学校6年特別授業 リモートで教育長が村を紹介

大河原小学校6年生を対象にリモートによる授業が行われ、堤義樹教育長が「現在の昭和村を知ろう」と題し、村公民館の特設スタジオから、昭和村の状況や産業、観光などの分野での取り組みについて説明しました。



質疑応答など双方向のやりとりも行われた授業

8/25 花いっぱい運動 婦人会がプランターに花植え

村婦人会(林とよ子会長)は、花いっぱい運動の一環として、道の駅「あぐりーむ昭和」でサルビアの花植えを行いました。植えられたプランターは、役場や村公民館、同道の駅などで飾られています。



ていねいにサルビアを植える婦人会の皆さん

9/10 川額自主防災組織 有事に備え防災倉庫を設置

川額自主防災組織(藤井照明区長)は、根岸地区の広場に(公財)群馬県市町村振興協会「魅力あるコミュニティ助成事業」を活用し、防災倉庫を設置しました。倉庫にはLEDライトやコンロなどを配備しています。



「今後は備蓄もしていきたい」と藤井区長(右)

9/21 昭和中学校秋のタベコンサート 吹奏楽部が練習の成果を披露

昭和中学校3階ホールで、吹奏楽部(見城柚実部長)の「秋のタベコンサート」が開かれました。感染症対策のため規模が縮小されましたが、有名曲や定番曲、3年生による合奏など、見事な演奏が披露されました。



ジブリソングスやスカパラなどを披露